



ひらけんちゃんねる

市政や地域の最新情報を動画配信



久喜市議会議員  
新政久喜



平沢  
健一郎

市議会報告だより

第38号 令和4年 5月号  
住所 久喜市菖蒲町菖蒲150番地  
電話 0480-85-0033  
HP http://www.hira-ken.jp  
メール info@hira-ken.jp

本庁舎移転撤回計画の見直しへ  
障害者施設集会所譲渡を取りやめ



久喜市は、本庁舎移転を撤回し、公共施設の老朽化に伴う公共施設個別設計の見直しを発表しました。市議会の代表質問で、新政久喜から代表して平沢健一郎が質問し、梅田市長が答弁しました。市役所本庁舎を引き続き使用、障害者施設の民間譲渡の取りやめ、集会所などの5施設の地元譲渡を撤回しました。市は昨年3月に「公

共施設個別施設計画」を策定し、現在の本庁舎や総合支所、4地区の保健センターや子育て支援施設を集約する「新総合複合施設」を計画しました。また、合併後の役割の重なる公共施設の整理や小中学校の適正規模・適正配置も盛り込まれていました。

現在、市役所本庁舎は建設から40年以上経って手狭になっていきます。計画には「本庁舎機能を集約し、新庁舎を建設する。行政本庁機能はすべて移転し、現本庁舎は除却する。」とありました。「耐震工事を終えた現在の庁舎を使うべき」との批判に、梅田市長は「市民を分断することがあつてはならない」と白紙撤回を決めました。

すでに昨年10月に検討委員会を設け、計画作成の委託契約を結んでいましたが、市は撤回に伴い今後の対応を検討するとしています。

計画見直しも 問われる

市長の遂行能力

この計画は、総論賛成・各論反対になりやすく、昨年は市立幼稚園の集約化を断念

し、障害者施設の民間譲渡も延期となっています。計画の見直しが図られたとしても、計画を遂行するには、今以上に市長の強いリーダーシップが求められます。

農業のテーマパーク  
基本構想計画の策定へ

栢間小林地区の農業振興や地域経済の活性化を目指す「農業のテーマパーク」に向け、令和4年度に久喜市は基本構想を策定します。内容として農業の振興拠点を整備すると共に、見沼代用水などのサイクリングロードを活用したサイクリングステーションや栗橋地区や鷲宮地区の広域避難の一時避難場所としての機能、スマート農業の導入などが検討される予定です。

これまで、計画を牽引してきた私としては、農業のテーマパーク実現に向け、より一層 国や県に働きかけを行っていきます。



近隣にある緑のヘルシーロード

市内5小学校で

足育測定がはじまる



高山かおる医師の足育授業（菖蒲小）

令和4年度から、久喜市内の5小学校（菖蒲、菖蒲東、三箇、小林、栢間）で足育測定が始まります。足育とは、正しい靴を選び、正しい足のケアを小さい頃から行い、足の機能を守り育てることです。

足育研究会の協力で、3年間菖蒲小学校をモデル校として足育測定に取り組んできました。結果、児童の足のトラブルの早期発見・早期ケアにつながっています。

私は足育を全小学校に広げるため、教育委員会に身体測定時に足長・足囲の測定と保健体育に足育の導入を求めました。今後、校長会で意見を聞くことと答弁があり、足育が広がることを期待します。